

2022 年 11 月 15 日

沖縄県がん診療連携協議会幹事長

増田 昌人

### 第 3 次沖縄県がん対策推進計画の評価のための医療者調査の進捗状況

#### 1. 前回の医療者調査

調査：2015 年 11 ～12 月

対象：がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、沖縄県がん診療連携支援病院、専門医療機関の計 20 施設の医療者 2724 名（回答者2,062名（回収率は 75.7%））医師 400（19.4%）、看護師 1276（61.9%）薬剤師 164（8.0%）MSW 73（3.5%）その他 149（7.2%）

#### 2. これまでの経過

2022年

2月 平成3年度第4回協議会では、①「第3次沖縄県がん対策推進計画の評価のための医療者調査」を行うこと、②沖縄県が主体となっていくことを沖縄県に提案することが決まった。

5月 平成4年度第1回協議会では、①（沖縄県が行う予定がないことから）医療者調査は協議会が主催すること、②前回行った医療者調査と比較ができるような調査を行うことが決まった。

8月 平成4年度第2回協議会では、①ベンチマーク部会で取りまとめること、②実施事務局は琉球大学病院がんセンターが行うことが決まった。

#### 3. 今後の経過

11月 今回の協議会に医療者調査（案）を提示し、協議

12月ベンチマーク部会で最終案を取りまとめ、幹事会でメール審議、協議会でメール審議を行い、最終決定する。

2023年

1月 調査用紙発送

2月 調査用紙回収

3月 調査結果の分析、公開

対象 がん診療連携病院等6施設および「がん診療を行う診療施設」17施設 合計23施設

医師約1,000名；各医療機関1～200名（勤務する医師数に応じて決定）

看護師約2,000名；各医療機関1～400名（勤務する看護師数に応じて決定）

薬剤師約200名；各医療機関1～20名（勤務する薬剤師数に応じて決定）

MSW約100名；各医療機関1～10名（勤務するMSW数に応じて決定）

回答方法 WEBと郵送（質問紙）の併用

参考資料

資料 1 4 - 2 医療者調査 鏡文

資料 1 4 - 3 医療者調査 質問紙

2022 年 11 月 17 日

〇〇病院院長  
〇〇〇〇先生

沖縄県がん診療連携協議会議長（琉球大学病院院長）  
大屋 祐輔

### 第3次沖縄県がん対策推進計画の評価のための医療者調査（依頼）

沖縄県では、2018年3月に沖縄県がん対策推進計画(第3次)を策定し、県と市町村、保健医療関係者、県民、事業者、関係機関・団体等が一体となって、がんの予防、がんの早期発見、がん医療などのがん対策に取り組んでいます。

本アンケートは、沖縄県のがん医療をより充実させるため、実施することとなりました。実際のがん医療に携わっている医療者の皆様に調査用紙をお送りしますので、大変お手数ですが、ご協力をお願いします。

#### 【ご記入についてのお願い】

がん医療についてお答えください。

◆アンケートは医療者ご自身(医師・看護師・その他医療スタッフ)についてお伺いするものです。

◆紙アンケートで回答する場合、設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで〇をお付けください。

◆web アンケートで回答する場合、URL もしくは QR コードからご回答お願いいたします。

○このアンケートの回答は任意であり、回答しないことで不利益が生じることはありません。

○回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することは一切ありません。

○回答時間は 10 分程度です。

○回答は匿名で行われ、皆様の名前や連絡先を扱うことも一切ありません。

#### 〈調査票の返送について〉

2023年2月28日までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡してください。

無記名調査ですので、調査票には住所・氏名を記入しないでください。

〈この調査に関するお問い合わせ先〉

琉球大学病院 がんセンター

〒901-0215 沖縄県西原町字上原 207 番地

TEL : 098-895-1369 / FAX : 098-895-1497

※電話受付時間：平日 9 : 00 ~ 17 : 00

Email : hk203619@jim.u-ryukyu.ac.jp

## 医療者のみなさまへ (案)

～沖縄県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

あなたの考えや状況に近い回答を 1つ 選び、数字に「○」をお付けください。

問 1. あなたの職種をお答えください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. ソーシャルワーカー 5. その他  
( )

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問 3. あなたの年齢をお答えください

1. 20 歳～29 歳 2. 30 歳～39 歳 3. 40 歳～49 歳 4. 50 歳～59 歳  
5. 60 歳～64 歳 6. 65 歳以上

問 4. あなたの施設の医療圏域をお答えください。

1. 北部医療圏 2. 中部医療圏 3. 南部医療圏 4. 八重山医療圏 5. 宮古医療圏

問 5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 6. 医師は必要な情報を医療スタッフ (or あなた) と共有していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 8. あなたの担当するがん患者で、治療方針 (告知等) の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

1. 受け入れてくれる (断られることはめったにない) 2. たいてい受け入れてくれる (たまに断られる)  
3. どちらかという断られるほうが多い 4. ほとんど断られる

問 11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している  
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問 12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している  
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問 13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携支援病院についてお尋ねします。

①都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

②地域がん診療連携拠点病院である那覇市立病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③地域がん診療連携拠点病院である沖縄県立中部病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

④地域がん診療病院である沖縄県立宮古病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑤北部地区医師会病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑥沖縄県立八重山病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑦都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 16. 沖縄県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 17. 沖縄県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 18. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない  
4. まったく実践されていない

問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 22. 離島に居住しているがん患者が、適切な医療を受けていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 23. 現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 24. 現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地元の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 25. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 26. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

1. いつもしている 2. たいていしている 3. していないほうが多い 4. ほとんどしていない

問 27. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

1. 言える 2. ときどき言える 3. あまり言えない 4. 言えない

問 28. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 29. あなたの施設では、がん患者に対する就労支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない  
4. まったく実践されていない

問 30. あなたの施設では、がん医療の質の向上などに対するモニタリングとその結果のフィードバックが実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない  
4. まったく実践されていない

問 31. あなたの担当するがん患者で、新規治療開始患者のうち、がん相談センター(または、がんについての相談窓口)やピアサポートの情報を提供した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

2023年2月28日までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。